

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月16日更新

事務事業名		県・菊池管内・品評会出頭祝金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	青木 克憲
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10284	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	家畜の体系資質の改良を促進するため、畜産農家が品評会に出頭したときに支払う。 ●平成24年度から、出品頭数1頭につき5,000円、飼料作物出品者は、3,000円
【業務の流れ】	①品評会日程及び出品者の把握 ②資金前途にて現金で祝い金を交付(出品頭数の変更される場合があるため、当日交付が望ましい) ③領収書(連名など)にて精算 ※状況に応じて口座振込みにて交付
【主な予算費目】	報償費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	品評会出頭祝金を交付した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 品評会出頭祝金を交付する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア:支払件数(延べ) イ:	予算の主な増減の理由 品評会への出品者、出品頭数が減少傾向にあるため(市内畜産農家戸数自体も減少傾向にある)。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等畜産農家。		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 ア:畜産農家数 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 良質牛を出品してもらおう。乳牛・肉牛の体系資質の改良、生産効率の高い牛群を増やしてもらおうことを目的とする。		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 頭 ア:出品頭数 イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 多くの良質牛を出品してもらおうために成果指標を「出品頭数」とした。目標値については、平成24年度75頭の実績に基づき60頭とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
①活動指標	ア 件		23	33	40	29	40	40	40	40	
	イ 件										
②対象指標	ア 件		117	109	110	105	105	105	105	105	
	イ 件										
③成果指標	ア 頭		36	53	60	55	60	60	60	60	
	イ 頭										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	658	268	500	275	450	450	450	450
	(A)事業費計	千円	658	268	500	275	450	450	450	450	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	3	1	0	0	0
	延べ業務時間	時間	80	220	50	155	50	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	297	0	199	613	199	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	955	268	699	888	649	450	450	450	

事務事業名	県・菊池管内・品評会出頭祝金事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ひとつの品評会への出品者が減少しており、かつ、上位品評会へ出場できていないため。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 当事業を畜産農家に広く周知し、品評会・共進会への積極的な出品を促す。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度から、出頭全頭に祝い金を送っており、農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業が他にないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 廃止した場合、出頭する畜産農家が減少し、乳牛の改良などを行う者も減る。結果、本市の基幹産業である畜産の衰退にもつながる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 原則、現金での手渡しで祝い金を渡しているため、委託等では対応できない。また、余計に人件費がかかる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 出品した畜産農家全てが対象である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 畜産振興のための事業であり、行政の施策として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

農家の方にも広く知られつつある。例年どおり共進会が開催されれば、成果達成が見込める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						